

「この原点」
ルベールビル・リル
ノルディック複合金メ
ス
萩原



幼児期の環境の大切さを話す松田医師(右から2人目)ら
=13日、倉吉市仲ノ町の倉吉幼稚園・倉吉保育園

子どもの心身に “足”と“歯”重要

6.14 倉吉幼稚園・保育園
27. 自主公開研究発表会

平成 倉吉市仲ノ町の倉吉
幼稚園・倉吉保育園

(井尾雅一園長)は13日、「第7回自主公開研究発表会」を同園で開いた。同園は幼児期の丈夫な体づくりに、土踏まずと下顎の形成が大切というテーマで研究を継続。公開保育や実践発表、ミニシンポジウムで取り組みを紹介した。

同園が園医や研究者らと連携を図りながら、日々の遊びを通して実践している独自の研究で、今年で8年目に入った。

同園屋上ひろばで、年長児らの一斉足遊びを公開。五輪金メダリストの萩原健司さんが「私の原点」と題して講演し、約170人が

聴き入った。

ミニシンポジウムは、「子どもの心身は“足”と“歯”がつくる！」をテーマに、落合和美教務主任が実践発表した。

学びを深めるため、歩育を勧める園医の松田隆医師、ウォーキングイベントに取り組んでいるNPO法人未来の岸田寛昭理事長、萩原さんらがそれぞれ意見を披露。松田医師は食や運動、生活習慣は乳幼児期が大切と説き、萩原さんも「子に教えるというよりも、親が子どもと一緒にやることで、子どもに伝えたいことが伝わる」と話した。

岸田理事長が美しく歩くと絶賛する萩原さんが、ノルディックウォークのこつを紹介し、来場者は熱心に聴いていた。